

2019年7月12日（金）

日刊木材新聞 7面に掲載

知識と技術向上の勉強会

切磋琢磨できる環境つくる

平田タイル

平田タイル（大阪市、徳田祥恭社長）は、具体的な活動内容は、知識向上や技術向

2010年に、取引先の地域密着リフォーム店や工務店を対象とした「オレンジリフォームサークル」を設立した。同サークルは現在、会員182社と賛助会員の建材・住設機器メーカー15社、同社で構成している。

目的は、リフォーム

事業者の事業拡大やリフォーム業界の発展

で、現在では広島、岡山、神姫、大阪、京

都、滋賀、首都圏の7

支部で展開している。



上のための勉強会、顧客接点イベント支援（平田感謝祭オレンジフェア参加）、住宅設備機器の延長保証サービス（最大10年）など。特に勉強会では、地域に住んでいる人に自社を知ってもらう方法などの営業活動や顧客獲得手法の追求、業績を上げるための仕組み作り、独自化による黒字経営の支援を行っている。そのほかにも、年1回は、建材・住設機器メーカーの工場見学なども行

6月7、8日に大阪国際会議場（グランキユーブ大阪）で開催した「創業100周年記念平田感謝祭オレンジフェア57th」では、オレンジリフォームサークル会員のなかで、パートナー店として34社の賛同を得て、一般消費者の動員を図り、潜在需要の掘り起こしの場として活用した。

7つの支部で行われる勉強会には、積極的にリフォーム店や工務店が参加している